

平成23年度 県土整備部環境配慮事例報告書

位置図・平面図等

事業主管課	河川局河川整備課
実施機関	県土整備部(阿南)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	桑野川 阿南市長生町原田	
事業の規模・状況	9750 m	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】

当該河川は、過去から洪水による被害を受けてきたため、河川改修を進めてきた。平成22年度に暫定改修計画(1/30)で整備が完了したこと、直轄管理区間が1/100で改修が完了したことから、下流から1/50で整備(河床掘削)を行うものである。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無, モニタリングの要否】

大気環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物・温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
○	○		○				○	○	

【特に配慮した環境要素と実施事項】

環境調査の結果、徳島県版レッドデータブックに掲載されている希少な植物や魚類が数多く確認されている。このため、環境配慮アドバイザーから助言・意見をいただき、希少種の生育・生息環境に配慮した計画策定を行った。具体的には、以下の項目等を実施する。

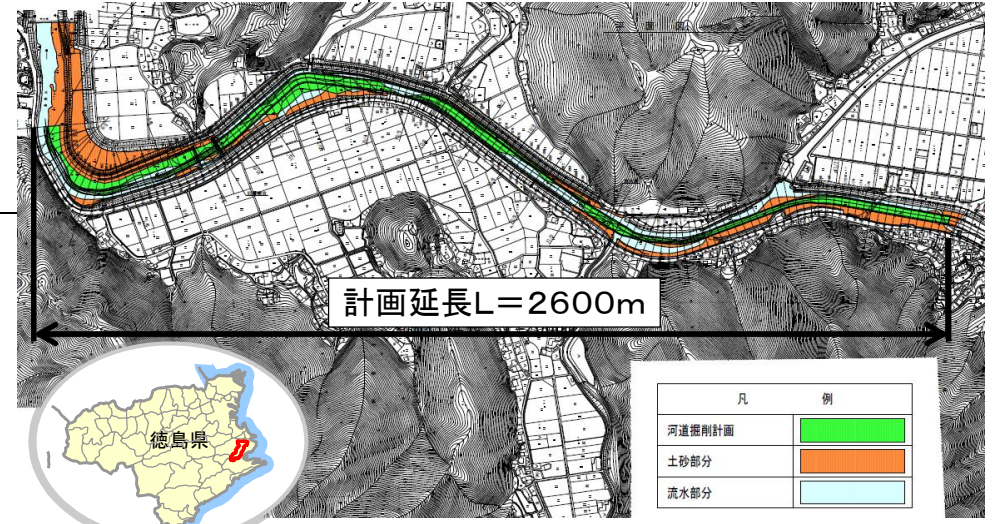
- ・種子を採取し掘削範囲外に散布する。
- ・植物を傷めないように作業員にポールで位置をしらせる。
- ・水循環を失わないように工事用盛土にパイプを設置し水の流れを作る。

【目標に対する達成状況】

下流のL=380mの河床掘削を施工中であり、状況把握に努めているところである。

【実施事項に対する評価】

実施者	環境配慮アドバイザーからいただいた意見及び助言を平面図にわかりやすく記載し、施工時に業者に示すことにより、桑野川改修時に保全が必要なものと、その環境への配慮の内容を共通の情報としての確に伝え、環境保全につなげていく。
主管課	河床掘削においては、自然環境の改変を余儀なくされるが、可能な限り影響が出ないように工事を実施していくことが重要である。今後も専門家等に意見をいただき、適切な工事施工に努めたい。



写真、図面等

